



創立5周年を迎えて

京都電気消防設備団体連絡協議会
代表幹事 松井 章



忘れもしない平成25年3月29日、数年の地道な準備期間を経て、待望の京都電気消防設備団体連絡協議会が、門川大作京都市長様をはじめ大勢の関係各位の温かい祝福を受けながら、京都ホテルオークラで小さくも元気な産声を上げました。誕生への道のりが長かっただけに、各団体役員喜びはひとしおで、感激の美酒に浸ったのをつい先日のことのように思い出します。月日の経つのは早いもの、早や満5歳の節目の誕生日を迎えました。

ここに京都電気消防設備団体連絡協議会5周年記念誌を発刊できることは誠に嬉しさと感謝の念に堪えません。

元よりまだ華々しい成果は上げてはおりませんが、その創設の趣旨・目的に沿ってしっかり我々が各々持つ専門的スキル・知識での地域社会貢献ができるよう毎月の定例役員会、事務局会議の論議を軸に鋭意邁進しているところです。

最近我々を取巻く環境は大変多くの問題を抱えておりますが、以下の3点を重要取り組み項目として活動を続けております。

1. 再生可能エネルギーや省エネ実現の為に、太陽光発電・蓄電機器・省エネ機器等の設置促進の為に普及・啓蒙活動。
2. 高齢化の進む地域社会の防火・防災の安心安全への支援活動。
3. 高齢化・流通大変革に伴い激増する街の電気屋さんの廃業の可及的阻止の為に継業活動の取り組み。

この3点が、今一番我々が注力している事業です。

1. つきましては、国家的な課題であり行政が主唱・主催されるイベント等には積極的に賛同・参加させて頂いているところです。またその有用な資料・情報等につきましては、各所属団体の組合員の皆様に各々独自の方法で伝達・啓蒙に努めているところであり、さらにもっと質量ともに高めていきたいと思っております。

2. つきましては、高齢者宅等への電気配線、家電製品等電気に係るものへの無料安全点検等を団体各々で行っております。

3. つきましては、継業問題は喫緊の課題であり、支援センターを設けて、行政からのご指導・ご支援を頂きながらその成功に向けて努力を致しておりますが、想定外の難しさもあり大変難渋中ですが、何とか成功軌道に乗せて多くの要望者に応えたいと熱闘中です。関係各位の更なるご指導を切望しております。

我が協議会は他にあまり例を見ない存在のようで、有難いことに関係者から注目され期待もされておりますので、その期待にそぐわぬよう役員一同鋭意精進致しますので、何卒更なるご指導、ご支援、ご鞭撻賜りますよう衷心よりお願い感謝を申し上げます。